

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	第二種電気工事士免状、第三種電気主任技術者免状の取得を目指し、その資格を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電気デジタル情報科Bコース	2年(昼間部)	2652単位時間 (又は単位)	平成13年文部科学大臣告示25号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1287単位時間 (又は単位)	273単位時間 (又は単位)	780単位時間 (又は単位)	1404単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	16人	3人	11人	14人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 電気設備管理・電気工事業 ■就職率 <sup>※1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> 92.3% ■その他(任意) (平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報)			主な資格・検定	第二種電気工事士 第一種電気工事士 第三種電気主任技術者	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成28年4月 1日在学者 23名 (平成28年4月入学者を含む)</p> <p>平成29年3月31日在学者 23名 (平成29年3月卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.nrj.ac.jp">http://www.nrj.ac.jp</a>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電気工事工業組合や東洋ビルメンテナンス(株)等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
上田 茂久	公益社団法人 大阪府建築士会
小西 敏仁	ネットヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	インウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成28年度

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成28年11月5日 13:30~14:50

平成29年度

第1回 平成29年4月8日 13:30~14:50

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電 気 機 械 技 術	山崎インターの電気設備の保守点検、測定器の整備点検とその使用方法	株式会社 ジェイファスト
マイコン制御工学	駐車場設備の工事・保守・点検に必要な技術についてタイムズサービスの研修施設において実習する	パーク24株式会社
施工管理技術	電気工事における施工計画書作成・施工図からの施工要領書の作成・工程表の作成の演習や道路使用許可申請における作業手順書作成演習を行い、現場代理人としての書類作成業務を体験することが目的である。	トナミ電工(株)
映像メディア制作	スタジオ収録における映像・照明・音響について収録用スタジオでの設営・操作及び効果を体験することが目的である。収録用スタジオにおいて出演者・照明セッティング係・マイクセッティング設営係・照明操作係・ミキサー操作係・	株式会社ハートス 有限会社スタジオ・マックス

	撮影係等に分かれ番組を収録する。	
--	------------------	--

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。  
希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程電気デジタル情報科Bコース) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			数学	専門教科を履修するのに必要な数学を学習します。電気回路論、電子回路論等の計算で必要とする数学を学ぶもので、内容的には、中学、高校の復習も含まれているので、今まで自分が知り得る数学を整理する様に指導します。	1	78	2	○		
○			物理	電界、磁界、電磁誘導、磁性体等、静電気学及び磁気学を幅広く学びます。	1	78	2	○		
○			電気回路理論	回路網に関する諸定理を学び、過渡現象、分布定数回路等の解析を行う。	1	78	2	○		
○			電気磁気学	電磁エネルギー、物質中の電磁界などの応用を学ぶ。	1	78	2	○		
○			電力技術	発電・送配電技術、電力システムにより電力エネルギーの供給と環境について学ぶ。	2	78	2	○		
○			電気機械技術	直流機、三同期・三相誘導電動機等の原理や特性、機械の応用技術を学ぶ。	2	156	4	○		
○			電気機器設計製図	変圧器、電動機、制御用機器等の構造を学び、製図を行う。	2	39	1			○
○			電気法規	電気工作物の保安に関する法規や電気施設管理を中心に電気主任技術者として必要な内容を講義します。	2	39	1	○		
○			電子回路	電子回路の基礎理論を説明するもので、内容としては、電子管、半導体素子、増幅回路、発信回路、整流回路、変調・復調回路等を学び、かつ実験・実習でその動作を確認します。	1	78	2	○		

○		電子計測	電気技術者として、必要な測定器等についての構造、原理、使用方法について講義します。	1	78	2	○		
○		電気製図	屋内配線から電力系統までの電気配線を製図します。	2	39	1			○
○		電気基礎実験	電子計測によって学んだ測定器を使用し、実際に各テーマのデータを取り回路網について検討実験を行う。	1	156	4			○
○		電気応用実験	高圧電気機器の動作試験や絶縁耐圧試験を行い理論上と実際のデータとの検討を行う。	2	234	6			○
○		情報工学	コンピュータの基本構成、動作をもとに、アプリケーションプログラムによる実習	1	78	2			○
○		情報工学	応用プログラムによる実習及びホームページ作成の基本について学習します。	2	78	2			○
○		マイコン制御工学	情報工学で学んだ知識を基礎に、プログラマブルコントローラによる自動運転制御やプログラミングについて実習しながら学習します。	2	78	2			○
○		施工管理技術	電気工事の現場で必要とされる施工計画、工程管理、品質管理、安全管理、設計契約等を中心に施工技術者試験の合格を目指す。	2	39	1		○	
○		デジタル回路	基礎となる電気回路、電子回路の知識をもとにしてゲートやICについての基本的特性、諸特性について講義します。また、基本的な回路構成してその実習も行います。	1	78	2	○		△
○		電気工事	第二種電気工事士国家試験の学科に出題される内容で配電理論、機器、材料、施工方法、法規、検査、配線図等についてポイント的に説明すると同時に現場における実務的な関連知識についても習得します	1	156	4	○		△
○		デジタルAV家電	AV機器のDVD、デジタルビデオカメラ、デジタル放送・通信機器の原理について学習します。	1	39	1	○		
○		デジタル生活家電	電磁調理器、イオン発生機能付生活家電機器の原理から基礎技術まで学習します。	1	39	1	○	△	△

○		デジタル放送システム	デジタル放送、情報通信の原理を学習しその端末機器でもある液晶やプラズマディスプレイや薄型画面の第三の技でもある無機EL（エレクトロルミネッセンス）まで学習します。	1	39	1	○		
○		映像メディア制作	カメラで撮影した静止画・動画をパソコンへ取り込む方法から、静止画の補正・修正・デザイン、動画のノンリニア編集方法や技術を学習します。	2	78	2	△		○
	○	ホームセキュリティ	敷地や宅内への侵入者や火災などの異常状態は生活する者を脅かすものです、しかしこのような時にいち早く知ることが出来れば安全を保つことができます、そのための機器の原理から技術まで学習します。	2	39	1	○		
	○	デジタル情報家電	パソコンによりネットワークシステムが進化し、その技術が向上したことによりパソコンの機能が多種多様になりました、この原理を学習し、その一部を取込んだ携帯電話の技術まで学習します。	1	39	1	○		
	○	ホームネットワーク	ブロードバンド通信網の整備やデジタル放送の普及による通信・放送サービスの多様化、AV機器をはじめとするデジタル技術の急速な発展により、情報通信を利用した多様で高度な利用システムについて学習します。	2	39	1	○		
	○	有線電気通信工学	電気通信について概論的に講義し、工事担任者資格試験に合格できるよう、十分な演習を行います。	1	39	1	○		
	○	データ通信工学	コンピュータに電気通信回路を接続してデータ処理とデータ電送を一体として行う方式の基礎について学びます。工事担任者資格試験に必要な講義を行います。	1	39	1	○		
	○	電工実習	電線の接続、がいし引き工事、金属管工事、合成樹脂管工事等、ケーブル工事の単位基本実習と、それぞれの各工事が複合された応用実習を行います。その場合、3路スイッチ、自動点滅器、2連スイッチ、スイッチ付コンセント等の各器具配線の方法も併せて学びます。	1	156	4	△		○
	○	実験実習	専門科目で学んだ理論あるいは技術を実験を行って実証しあるいは体得することにより、知識および技術として確かなものとなる。実験の内容は、本学科専門科目の電気分野の実験を行う	2	390	10	△		○
	○	実務実習Ⅰ	ビジネスマナーの基本となる接客・電話対応を学び、基本的な事務的業務を行なうことにより企業の業務の把握が出来るように企業研修を行う	1	273	7	△	△	○
	○	実務実習Ⅱ	学内において低圧電気取り扱い業務特別講習を学び、企業における安全教育の基本を事前に学んでおき、実際の現場における安全教育の向上を目指す、また学内で学んだ製図技能を企業において実践する	1	273	7	△	△	○

	○		実務実習 Ⅲ	高圧受電設備の保守点検業務・低圧電気設備の保守点検業務・空気調和機・給水設備等電気主任技術者としての実務を身につける	2	273	7	△	△	○
	○		実務実習 Ⅳ	2年時までに取得した国家資格の分野に合わせ、インターンシップ提携企業が施工主側の許可を頂いた現場での実践実習を行う、	2	273	7	△	△	○
合計				34科目	3744単位時間(96単位)					